

評価基準に基づく評価項目別の総合値

評価項目		評価のポイント	配点	評価値
				計
1	業務概要	仕様書等に示した業務の目的・趣旨を正しく理解した提案であること。	40	30
2	一元的な情報管理	肝炎対策業務に沿って、個人に着目した一連の情報を入出力できる。 集計・検索が可能であり、年度単位での統計やデータを活用した分析が容易にできる。 帳票を簡便に作成し、出力できる。	60	48
3	ユーザビリティ	専門的な知識を持たないものであっても、使いやすいシステムとなっている。 システム入出力における職員の事務軽減に配慮がされている。	60	48
4	利用者教育	システム稼働前の操作研修・説明会について、操作内容の理解向上が図れる内容である等の工夫がなされているか。 システム稼働後の継続的教育について、利用者に対するフォローアップ等の支援体制が充実しているか。	30	22.5
5	類似業務の実績	類似業務の内容、成果が優良で、本事業においても効果が期待できるものであること	20	10
6	スケジュール	テスト稼働を含む全体のスケジュールが令和8年4月1日からの本稼働に向けて実施される。 スケジュールの実現可能性が高く、契約期間内に委託業務遂行が可能である。	60	45
7	実施体制	業務に必要なノウハウ及び執行体制等、本業務の遂行能力を有している。 ・事業者内（責任者・担当者）での役割分担の明確化 ・責任者・担当者等について、役割に応じた経験・資格等の有無	40	28
8	情報セキュリティ	本調達仕様書に記載するセキュリティ要件を満たしている。 不正アクセスや個人情報の漏洩防止策など、業務実施にあたってセキュリティに対する考え方や方針が定められている。 セキュリティ事案発生時の対応策が具体的に示されている。	30	22.5
9	見積価格	経費の内訳が明確であり、妥当な価格であること。	60	42
10	長期的視点	拡張性、柔軟性に優れ、長期的な運用に耐えうるシステムの機能が整備されているか。 ・突発的なシステムの不具合にも迅速かつ的確に対応できること。 ・開発年度以降のランニングコストは適切であるか。	40	34
11	その他提案	特筆すべき優位性があるか。 肝炎対策計画の推進にむけた、本県の目指す姿の実現に向けた実用性ある提案がなされているか。	60	45
		総合値（委員全員の評価値の合計）	500	375